

令和3年度 京築地区中学校バスケットボール大会要項

- 1 大会名 第59回京築地区中学校バスケットボール大会
- 2 主催 京築地区中学校体育連盟
京築地区各市町(学校組合)教育委員会
共催 福岡県教育委員会
- 3 期日 令和3年 7月 17日(土) 開始式 8:50
競技開始 9:10
18日(日) 競技開始 9:10
- 4 会場 1日目 椎田中学校体育館(男子) 八屋中学校体育館(女子)
2日目 椎田中学校体育館(男女)
- 5 参加制限 各郡市2校
- 6 競技方法 トーナメント・リーグ戦方式
(1回戦を男女ともC案で行い、上位4チームによる決勝リーグ戦)
- 7 競技規則
 - (1) 規則 本年度日本バスケットボール協会競技規則ならびに福岡県中学校体育連盟及び本大会の申し合わせ事項に準ずる。
(マンツーマンディフェンスの推奨)
 - (2) 試合球 男子公認皮革7号球 女子公認皮革6号球
 - (3) 監督 引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。
コーチについては、出場校の教育職員とする。但し、教育職員以外のコーチは校長が認め、県中体連に登録し、承認を受けたものとする。
 - (4) チーム編成 選手15名・生徒マネージャー1名
コーチ1名・監督1名・校長1名
 - (5) 服装 ユニフォーム(濃淡2色)
 - (6) 競技時間 8分クォーター制
(ハーフタイム8分、ゲーム間15分とする。)
延長・・・2分休憩の後、3分(延長)
 - (7) 申し合わせ事項
 - ① 決勝リーグで勝ち数と同じになった場合は、直接対決の勝利校を上位とし、それが同じ場合は得失点差で順位を決める。
 - ② ユニフォームは組合せの左側チームが淡色とする。
 - ③ 組合せの左側チームがオフィシャル席に向かって右側ベンチとする。
 - ④ テーブルオフィシャルは顧問がついて指導をし、原則として負けチームが行う。
 - ⑤ インシューズ、アウトシューズの区別をつけること。
 - ⑥ 競技中に食べ物を持ち込まない。
 - ⑦ 会場の遵守規則を守ること。
 - ⑧ 体育館開館時間は午前8:20とする。監督会議を8:30より行う。
 - ⑨ 次試合チームによる前試合のハーフタイムのウォーミングアップは行わない。
- 8 表彰 1位 賞状ならびに優勝旗、個人賞状16枚
2位 賞状、個人賞状16枚(賞状4枚、個人賞状64枚)

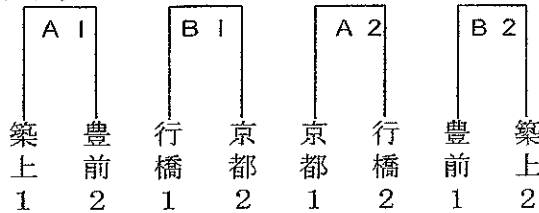
11 組み合わせ・試合順序

試合開始時間	
開始式 (1日目)	8:50
① 9:10	② 10:30
③ 11:50	④ 13:10
表彰式 (2日目)	14:30

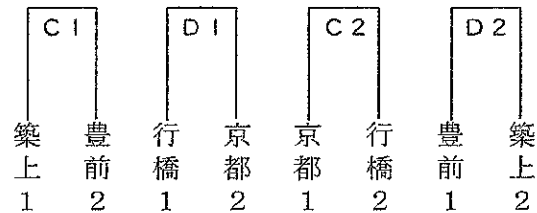
ABコート：椎田中学校

CDコート：八屋中学校

(男子)



(女子)



1日目 17日(土)

Aコート (男子)

- ① 築上1位 - 豊前2位
- ② 京都1位 - 行橋2位
- ③ A1勝ち - B1勝ち
- ④ A2勝ち - B2勝ち

Bコート (男子)

- 行橋1位 - 京都2位
- 豊前1位 - 築上2位

Cコート (女子)

- ① 築上1位 - 豊前2位
- ② 京都1位 - 行橋2位
- ③ C1勝ち - D1勝ち
- ④ C2勝ち - D2勝ち

Dコート (女子)

- 行橋1位 - 京都2位
- 豊前1位 - 築上2位

2日目 18日(日)

Aコート

- ① 女子 C3勝ち - C4負け
- ② 男子 A3勝ち - A4負け
- ③ 女子 C3勝ち - C4勝ち
- ④ 男子 A3勝ち - A4勝ち

Bコート

- C3負け - C4勝ち
- A3負け - A4勝ち
- C3負け - C4負け
- A3負け - A4負け

12 県大会出場について

男女とも上位2校は、県大会に出場する義務を負う。

13 その他

AEDは大会本部に設置。Jアラート警報時は試合を一時中断し、屋内にて安全を確保する。警報が解除され次第、試合を再開する。

令和3年度京築地区中学校（バスケットボール）大会感染防止ガイドライン

- 受付
 - 窓口には、手指消毒剤を設置すること
 - 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
- 各校責任者は、参加者から以下の事項を記載した健康観察カードの提出を求め、大会終了後2週間保管すること
 - 氏名、年齢※個人情報の取扱いに十分注意する
 - 利用当日の体温
 - 利用前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
 - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 大会当日、以下の事項に該当する場合は参加を見合わせたり、速やかに帰宅させたりすること
 - 体調がよくない場合（発熱・せき・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- マスク等の準備
 - 参加者がマスクを準備しているか確認すること
 - 運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求めること（運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする）
- 大会参加前後の留意事項
 - 大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避けること
 - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること
- 手洗い場所
 - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること）
 - 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- 更衣室、休憩・待機スペース
 - 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障がい者の介助を行う場合を除く）
 - 一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
 - 複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
 - 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- 飲食
 - 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること
- 洗面所
 - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
 - トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
 - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること）
- 飲食物の提供時
 - 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
 - 飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること
 - 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること
- 保護者の管理（適時アナウンスや掲示物でお知らせをすること）
 - 保護者の参加人数については、会場校によって制限をかける。制限の詳細については、会場校より出場校に後日連絡する。
 - 大会関係者や保護者同士が密な状態とならないようにすること
 - 大声で会話をしたり、声援を送ったりしないこと
 - 会話をする場合にはマスクを着用することなどの留意事項を周知すること

- 大会会場
 - 大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
 - 換気設備を適切に運転すること
 - 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと
- 大会中の留意事項
 - 交代選手がベンチに戻ってきた際に、手の消毒を行う
 - 生徒のベンチ入りは選手15名、生徒マネージャーの1名のみとする。
それ以外の生徒の入場については会場校によって制限をかける。
制限の詳細については、会場校より出場校に後日連絡する。
 - 第1試合前および最終試合終了後に、ベンチ、オフィシャルセット等の機材、出入り口や待機場所など会場全体の
 - 試合間でのベンチ、オフィシャルセット等の機材の消毒を行う
 - 握手、ハイタッチ、抱擁、円陣をしない
 - オフィシャル、モップの生徒もマスクを着用する
 - 倒れた選手に選手同士で手を貸さない
 - 両チームへのベンチへの挨拶をしない
- ゴミの廃棄
 - 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
 - マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること